



2021年度（令和3年度）オンライン 東北大学法科大学院入試説明会

東北ローは伊達じゃない？

担当：得津 晶（東北大学法科大学院広報委員長・副院長）

2020年7月25日現在

法科大学院入試が変わる？ 司法試験が変わる？

- **2023年（令和5年） 改革後の司法試験制度開始**

- 在学中受験（法科大学院最終学年〔L3〕での司法試験受験が可能に）
- 司法試験の開催時期もこれまでの5月から7月or8月に変更？
↓その2年前

- **2021年（令和3年） 法科大学院入試・教育改革**

（「令和4年度（2022年度）入学試験」という表現になるが実施は2021年度）

- 学部の「法曹コース」との連携強化
- 3年生でも法科大学院受験が可能に—**現在（2020年度）の学部2年生以上**が対象に
- 法曹コース出身者しか受験できない「特別選抜入試」
- 「特別選抜入試」には、①連携協定のある大学のみが対象となる筆記試験のない「五年一貫型入試」（多くのLSでは4年生でも受験可能）と②連携協定のない大学も対象となる「開放型入試」の2種類

現学部生に適用される入試制度

2020年度現在

- **4年生：現行法科大学院入試**
- **3年生：新入試制度（ただし法曹コースによる特別選抜入試制度は除く）**
- **2年生：新入試制度（法曹コースによる特別選抜入試制度あり）**
- **1年生：新入試制度（法曹コースによる特別選抜入試制度あり）**

※ 留年・浪人をした場合はそれに応じて1年ずつスライド

法科大学院制度改革

- 入学者減少などの不人気、伸びない司法試験合格率、予備試験との競争etc.を受けて法科大学院制度改革
 - ◆ 今回の改革は主に既修者コース／優秀な学生（高校生）の他学部との取り合い競争
- 学部（法学部内の「法曹コース」という新たなコース）との連携を強化し、学部3年次に法科大学院へ進学（3 + 2・五年一貫）
 - そのための特別選抜入試が2021年度からスタート。連携協定締結校の法学部生（東北LSは東北法学部・新潟法学部）の成績超上位者は筆記試験免除ルートも
- 法科大学院最終学年（L3）での司法試験受験資格（在学中受験）
 - 2023年度開始、L3進級時まで必要科目の単位修得が条件
 - 法曹コース出身者・特別選抜入試合格者は1学年取得単位上限（キャップ制）の緩和や法学部在学中に法科大学院授業科目を科目等履修することが可能に

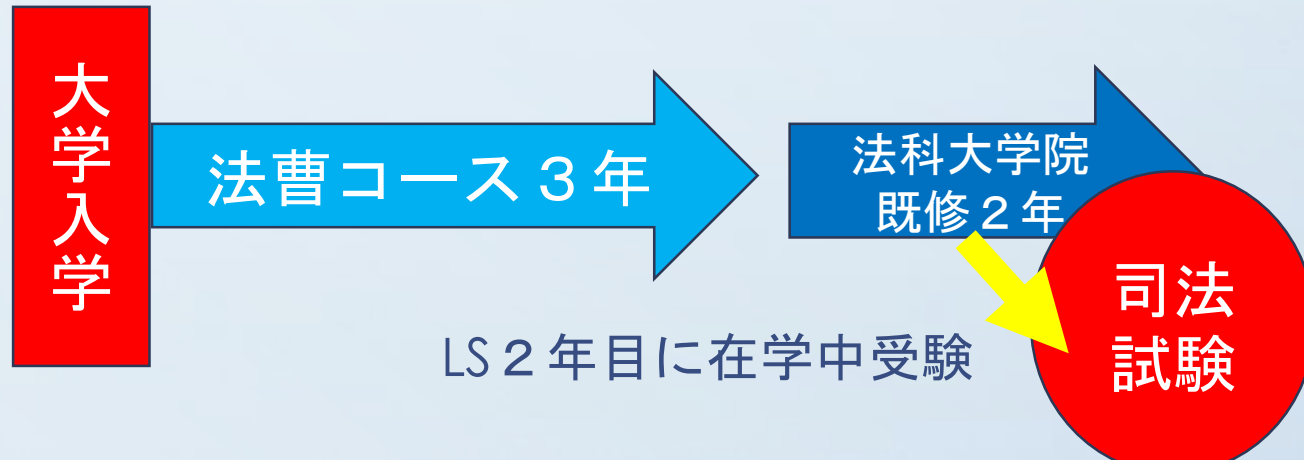
LS経由の司法試験までの最短コースが学部入学から6年→4年に！

- 今まで



最短でも司法試験まで6年間
(例外的制度の活用で5年)

- 新制度



最短で学部入学から
4年で司法試験

オンライン入試説明会の内容

0. Introduction (この説明)

I. 法科大学院制度・司法試験の概要：現行制度と新制度

1. 法曹へのルート
2. 法科大学院での教育
3. 法科大学院入試

II. 東北大学法科大学院の教育

4. 東北大学法科大学院の教育の特色
5. 未修者の問題と東北大学法科大学院のカリキュラム

III. 本年度（2021年度）東北大学法科大学院入学試験について

6. 東北大学法科大学院の今年度入試
7. 東北大学法科大学院入試の準備

1. 法曹へのルート

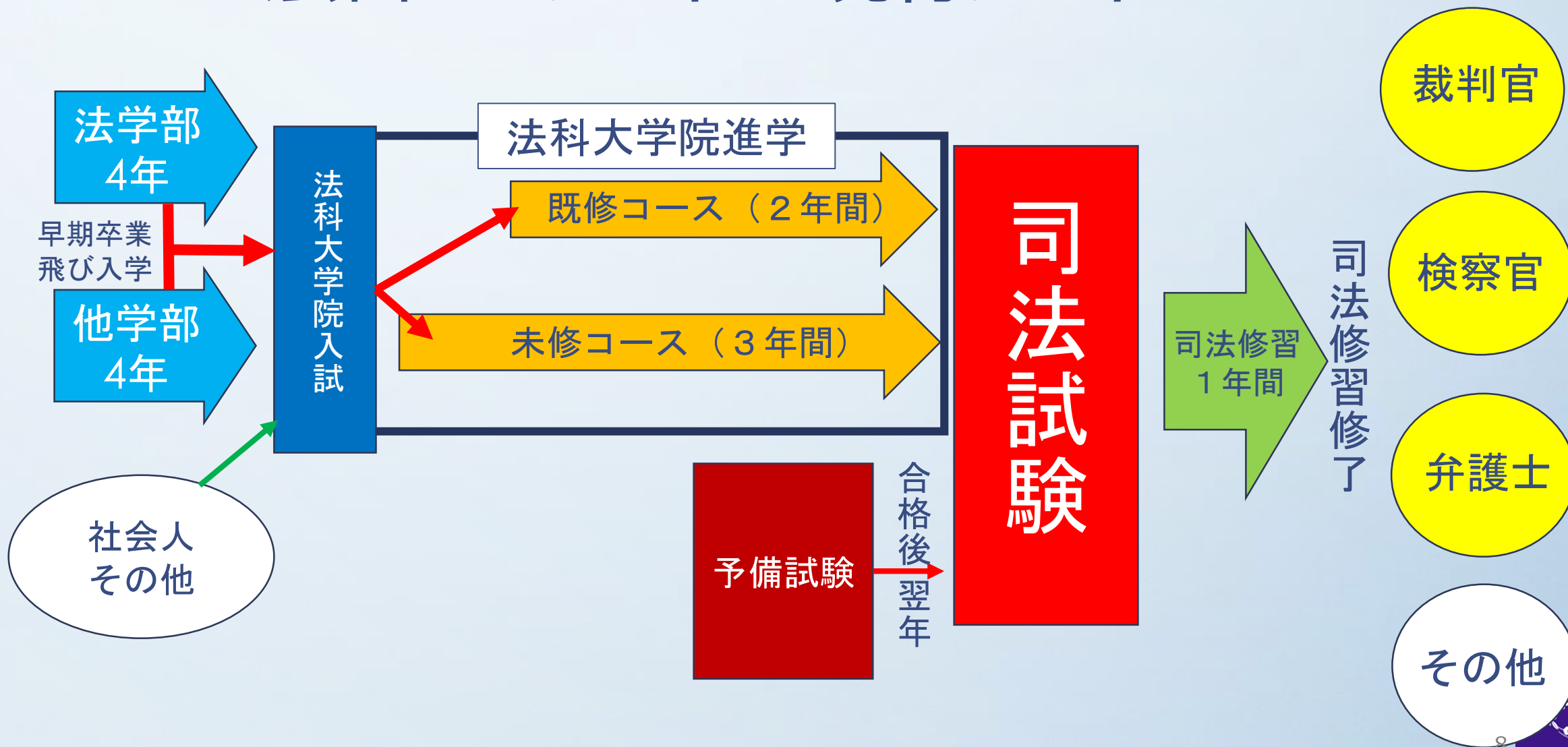
法曹三者

- 裁判官：市民（個人も企業も）の間の紛争の解決（民事事件）や犯罪が本当に行われたのか否か・どの程度の刑罰に処すべきかについて審理したうえで判決・決定（裁判）を行う
- 検察官：捜査機関（警察）から事件を引き継いで被告人を裁判で訴追する。
- 弁護士：裁判における当事者（民事事件、刑事事件の被告人）の代理人のほか、様々な法律に関するサービス業務（アドバイス、契約書の作成・レビューなど）を提供

この3つの業務には「司法試験合格」とその後の約1年間の司法修習の修了（2回試験合格）が必要。

- 最近はインハウス（企業内弁護士）やコンサルタントなど必ずしも法曹資格が必要ではないものの法律の専門知識・技能を活かした進路も

1. 法曹へのルート：現行ルート



司法試験

- 毎年5月第3週ごろに実施（2020年はコロナの影響で8月12－16日）
 - 2023年度からは新制度に伴い7月中一下旬ごろ実施に変更の可能性
- 試験科目
 - 短答式試験（択一試験・マーク試験）：憲法、民法、刑法の3科目
 - 論述式試験：憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法の全7科目
 - 論述式試験（選択科目）：8科目の中から1科目選択（倒産法、租税法、経済法、知的財産法、労働法、環境法、国際公法〔国際法〕、国際私法〔国際私法、国際取引法、国際民事手続法〕）
- 4日間かけて実施（あいだに1日の休息日）
- **合格率 33.6%**（受験者4,466人—合格者1,502人〔2019年度〕）
 - 平均合格年齢 28.9歳

司法試験の受験資格

主に2つのルート

1. 予備試験合格

本来は、法科大学院に進学する時間的・経済的余裕のない人のための例外としてのバイパスルート

最近では都内・関西の有力大学の法学部生が「若年合格」するためのルートに

2. 法科大学院修了

既修は2年のコース・未修は3年のコース

修了後5年間・5回まで受験可能

2023年から在学中受験制度スタート（最終年度〔L3〕に受験可能に）

予備試験とは

- 司法試験受験資格を獲得するための試験・司法試験受験の前年に合格する必要がある。
- 短答式（5月中旬）→論文式（7月中旬）→口述試験（10月下旬）
合格した受験生のみが次のステップにすすめる
2020年度はコロナの影響で短答式試験は8月16日（以降は未定）
- 試験科目
 - 短答式試験：8科目（憲法、民法、刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法、行政法、一般教養科目〔人文科学、社会科学、自然科学、英語〕）
 - 論文式試験：9科目（憲法、民法、刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法、行政法、一般教養科目〔人文科学、社会科学、自然科学〕、法律実務基礎科目〔民事実務、刑事実務〕）
 - 口述試験：法律実務基礎科目（民事）、法律実務基礎科目（刑事）
- **合格率 3.28%**（受験者11,780名—最終合格者476名〔2019年度〕）
 - 平均年齢 26.03歳（最年少19—最年長63歳）
 - 予備試験合格者の中での司法試験合格率は81.8%（受験者385—合格者315名〔2019年度〕）
 - 有名大学の学部生の中には記念受験・法科大学院進学準備的な意味合いの受験生も多い。
 - **最近では法科大学院在学学生も司法試験の練習目的／1年でも早く実務に就くため／就職活動で有利になるため予備試験受験が増加**
- 法律学を自学自習できる学生（主に法学部生や司法試験予備校を活用している学生）向け

法科大学院とは

- 全国に38校
(現在も学生募集中のもの。ピーク時74校から既に35校が閉鎖・募集停止)
- 既修コースと未修コース
 - 既修コースは2年：法学部出身者等の法律学（特に司法試験の必修科目7法あるいは行政法を除いた6法）の基礎知識をすでに学んだ学生
 - 未修コースは3年：1年目に法律科目の基礎をみっちり学ぶコース。2年目から既修コースと合流
 - 既修コースと未修コースは入試段階で選抜。法律科目の筆記試験で合格点が取れるならば法学部出身かどうかは関係ない（司法試験予備校を活用した他学部生なども既修コース進学可能）
- 修了生は5年間（最大5回）の司法試験受験資格（かつては最大3回—「三振」制）
 - 受験資格喪失者が予備試験受験・別の法科大学院に再入学して司法試験に合格した例も

2. 法科大学院での勉強

法科大学院ではどういう勉強をするのかを説明したいと思います。

- 法科大学院の授業内容（各法科大学院によって異なります）
 - 司法試験必修科目（七法）＋選択科目
 - 実務家教員による法律実務の基礎を学ぶ科目も必修・選択必修
 - 司法試験の出題範囲ではない法律（社会保障法やジェンダーと法など）を学ぶ先端展開科目
 - 外国法（英米法、フランス法）や法律の哲学的なバックボーンを学ぶ科目（法理学）、経済学的な分析手法を学ぶ「法と経済学」などの基礎法・隣接科目。
 - ◆ 司法試験科目ではないが「学問的」に重要であるため、予備試験ルートでは学ぶことが難しい科目

2. 法科大学院での勉強

- 未修1年目 (L1)
 - 司法試験必修科目7法のうちの主要な科目の基本という法学部2-3年間で学ぶ基本科目を「1年間」で学習
司法試験必修七法（法律基本科目）は基本→応用のステップごとに学習
 - 初学者の法律の勉強を支援する科目（法学入門、法律文献の調べ方など）
- 未修2-3年目・既修1-2年目 (L2-L3)
 - 未修2年目は既修1年目と合流 (L2)
 - 七法科目は知識の取得から応用（問題解決）にウエイトが移り、授業中の質疑応答がより重視される（ソクラティックメソッド）
 - 司法試験選択科目はL2から学習
 - 実務家の先生による実務基礎科目、基礎法・隣接科目、展開・先端科目もL2から学習

東北大学LSの例



2. 法科大学院での勉強 (現行制度と新制度)

- 現行制度
 - 司法試験受験は法科大学院修了後
- 新制度 (2022年入学L2から)
 - 司法試験受験は法科大学院 3 年次からも可能に (試験実施時期も7月中～下旬に)
ただし、在学中受験のためにはL2の後期までに司法試験選択科目の単位履修が必要
 - 法曹コース出身者は年間取得単位上限 (キャップ) を46単位に拡大 (現在L2は36単位、L3は44単位)
 - 法曹コース学生は法学部在学中より「科目等履修」(「共同開講」) などをつかって法科大学院の単位を先取り取得
(他法科大学院の科目等履修によって取得した単位も30単位まで読み替え可能)
 - ◆ 在学中受験のために七法科目の応用レベルの単位取得に加え司法試験選択科目の単位取得も容易にするための制度

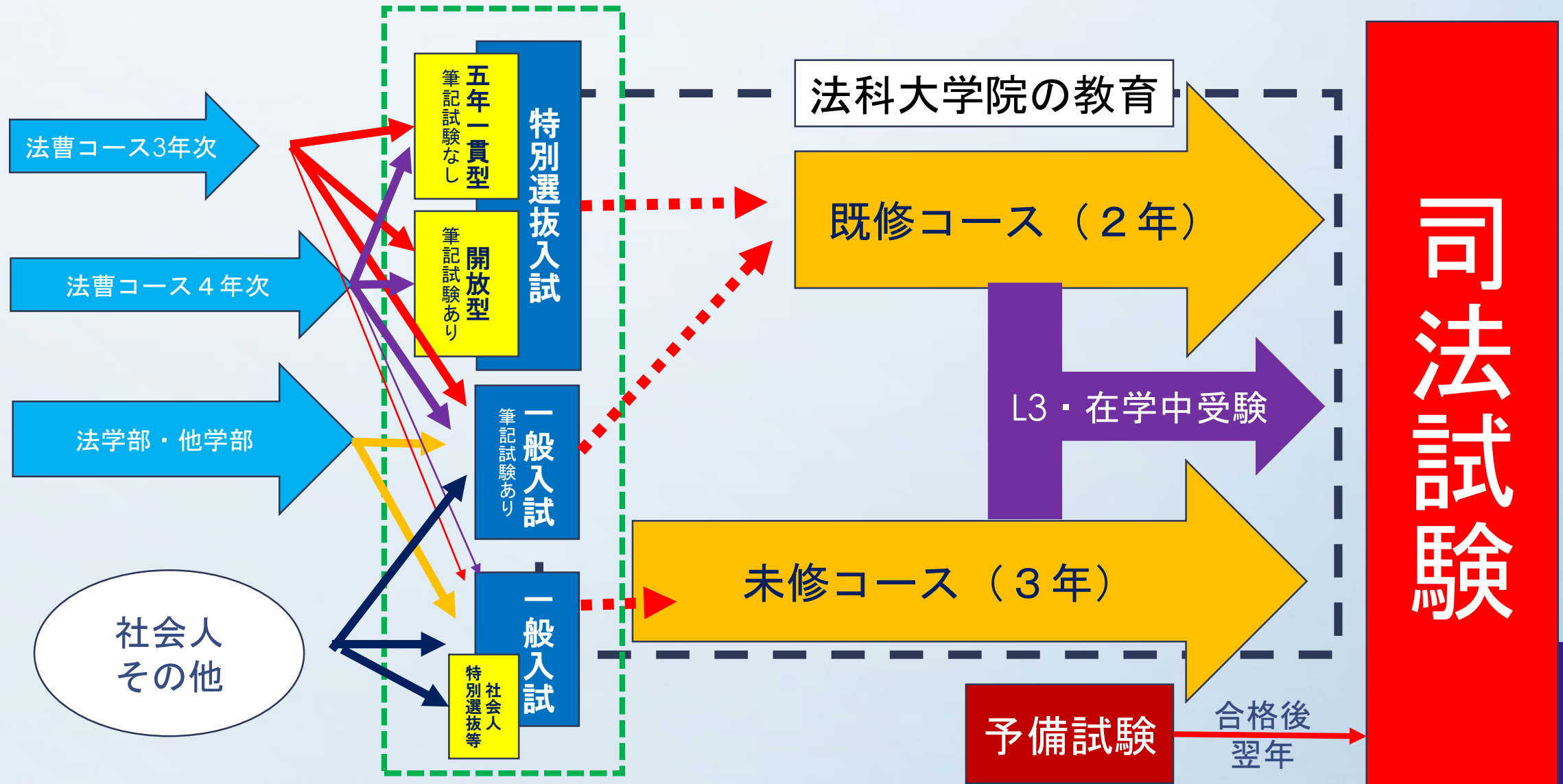
3. 法科大学院入試

- 現行制度（2020年実施）
 - 大きく分けて既修入試と未修入試の2種類
 1. 既修入試：法律科目の筆記試験が必須（+出願書類〔志望理由書など〕）
既存の「早期卒業」や「飛び入学」制度を用いて3年次に進学するケースもみられる。
 2. 未修入試：小論文中心。そのほか、面接、書類選考など
社会人特別選抜などでは小論文が課されない入試のあるLSも
 - 年1回入試のLS（東大、京大、一橋など）と年2回入試のLS（東北LSなど）
さらに「追加入試」が2月、3月に実施されるLSも（東北LS）
 - ① 年1回入試：秋が多い
 - ② 年2回入試：夏（7月末～8月の夏季休業中）と秋

3. 法科大学院入試

- 新制度（2021年度実施〔2022年度〕入試以降～）
 - 既修入試と未修入試。既修入試の中に法曹コース学生のみを対象にした「特別選抜」入試
 - 既修入試：特別選抜入試（法曹コースの学生のみが受験可能・既修定員の最大2分の1まで）
 - ① 五年一貫型入試（既修定員の最大4分の1まで）：協定提携先の法科大学院のみ受験可能。法律科目の筆記試験が免除。
 - ② 開放型入試：協定の有無にかかわらず受験可能。法律科目の筆記試験が必須。
 - ◆ いくつかのLSでは開放型入試がない（東大、京大など）
 - ◆ 法曹コースの3年次の「早期卒業」制度（飛び入学制度）の利用が想定されているものの、①も②も4年生でも受験可能
 - 既修入試：一般入試 現行制度と同様 法律科目の筆記試験が必須。
 - 未修入試：現行制度と同様

法曹へのルート：新制度 LS入試2021～；司法試験2023～



4. 東北大学法科大学院の教育

- 東北大学法科大学院 2021 年度パンフレット

<http://www.law.tohoku.ac.jp/lawschool/admission/pamphlets/>

- 東北大学法科大学院 2021 年度入試募集要項

<http://www.law.tohoku.ac.jp/lawschool/admission/2021/boshuyoukou.pdf>

4. 東北大学法科大学院の教育

- 2019年度**司法試験合格率 38.5%**（受験者52名—合格者20名）（パンフp.23）
全国の法科大学院中8位
 - 未修出身者 21.4%（受験者14名—合格者3名）
 - 既修出身者 44.7%（受験者38名—合格者17名）
- **累積合格率**（全年度通算の最終的な合格率）58.0%（合格者498／修了生858）
 - 未修出身者 47.4%（145／306）
 - 既修出身者 63.9%（353／552）

（2019年度結果まで。まだ受験機会を残している修了生がいるため実勢はもっと高くなる）
- **原級留置率（留年率）**

– L1→L2	2015年度 50%	2016年度 78.6% （過半数が留年）
– L2→L3（既習も含む）	2015年度 24.3%	2016年度 51.5% （過半数！）
– L3→修了	2015年度 5.9%	2016年度 13.3%

4. 東北大学法科大学院の特色

1. 基本七法の繰り返し学習 (パンフレット p.3-4)

- L1で基本七法 (除・行政法) → L2の基幹科目 (+行政法) → L3の応用科目 (選択)

L1は理解・知識中心→基幹科目でも「基礎」を重視しつつ徐々に「問題演習」にウェイトを移す

「法科大学院の授業中心」でも司法試験に合格できるカリキュラム

2. 修了生オフィスアワー (パンフレット p.14)

- 修了生弁護士が質問・答案添削・勉強法のアドバイス
- 夏期の萩法会 (仙台弁護士会の若手弁護士) + 春季講習 (答案練習・2019年度は松原俊介先生ご担当)

3. 「自ら学ぶ」ための環境

- **24時間利用可能な自習室** (コロナ期は除く)
- 「勉強会」の促進・奨励 (ゼミ室など)

4. 幅広い開講科目 (パンフレット p.3-4)

- 歴史ある「旧帝大」ならではの多様な開講科目。外国法や法と経済学などアカデミックな科目。
- 医事法、子どもと法演習、ジェンダーと法などSocial Inclusion (社会的包摂) へのウェイト

5. 奨学金 (パンフレット p.13)

- **入学試験上位合格者**には入学金 + 初年度授業料相当額の奨学金を給付

東北大学法科大学院の経済的支援

1. 入学者のうち成績優秀者に入学料相当額・初年度授業料相当額（108.6万円〔2019年度実績〕） 給付

入試上位合計（前期・後期・未修・既修） 30名程度

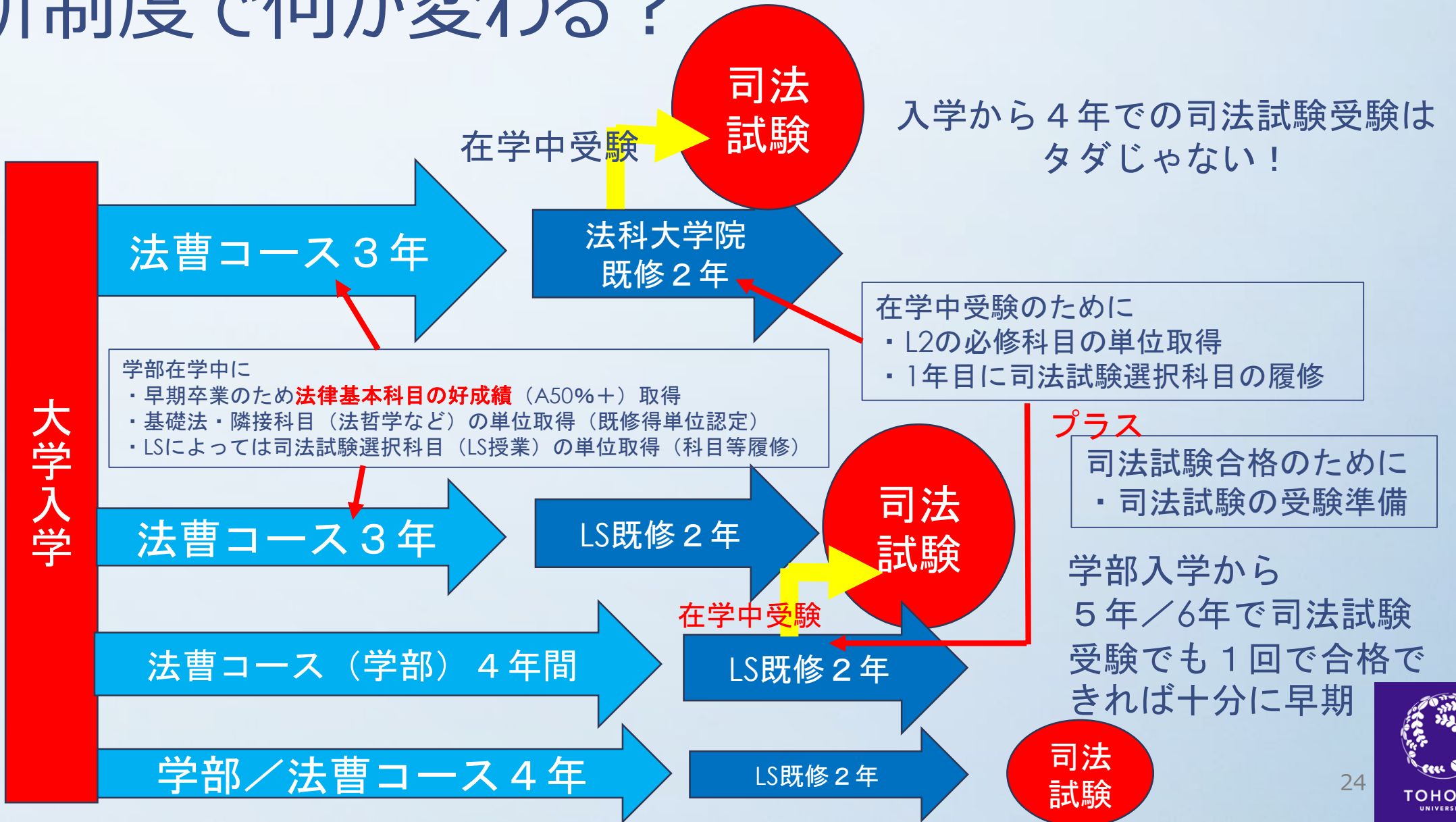
2. L1、L2各年度末成績優秀者に奨学金 30万円

パンフレット p.13

4. 東北大学法科大学院の特色： 新制度で何が変わる？

- 「じっくり学ぶ」法科大学院
 - 「在学中受験」「3 + 2」への対応とこれまで通り「法科大学院の授業中心」にじっくり勉強して確実に合格を目指すルートの両立
 - 「超短期合格」よりも「確実な早期合格」の増加を目指す
 - Cf. 東北LS在学学生予備試験合格実績 かつて数年に1名程度→ここ2～3年はL3で3名程度
 - 2019卒業後一年目合格者インタビュー結果から「基本七法の繰り返し学習」カリキュラムは維持
 - 七法を「繰り返し学習」するカリキュラムは維持
 - 広がる既修者認定（法曹コース出身者〔東北大・新潟大〕のみ）
 - 行政法や基礎法（基礎法・隣接科目〔法哲学など〕）は学部在学中に履修した単位で法科大学院の単位も認定→浮いた時間数を使って司法試験選択科目の勉強をL2で
- ◆ 新制度は主に既修者向けの改革

4. 東北大学法科大学院の特色： 新制度で何が変わる？

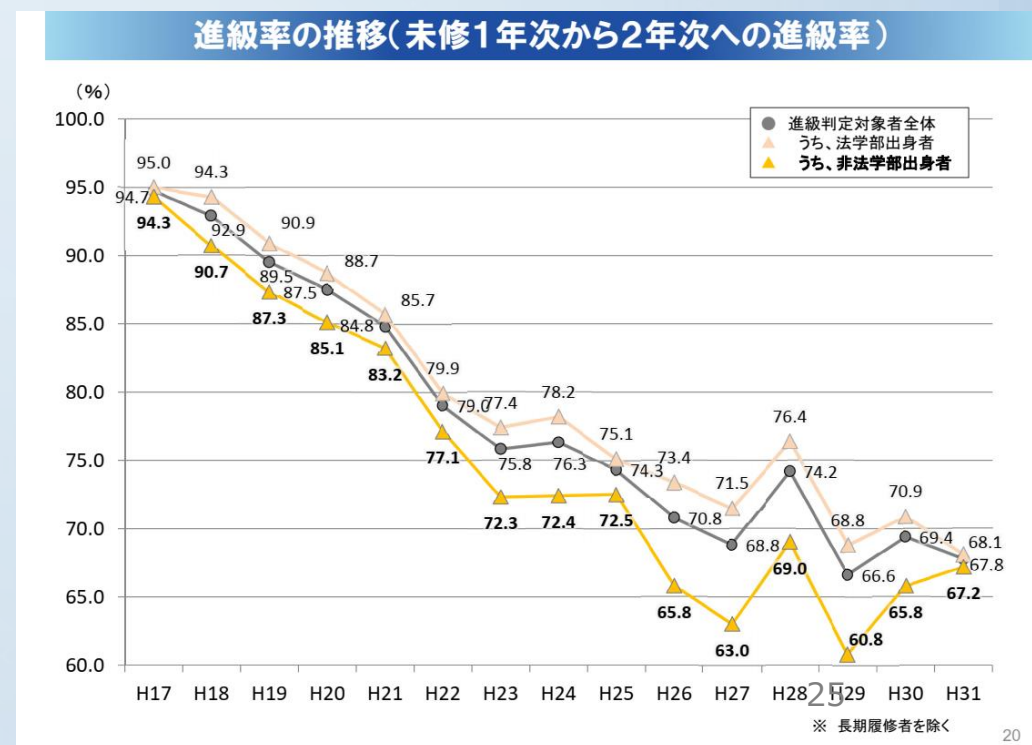


5. 未修者コースの問題点

◆ 今回の制度改正では手付かず今後の課題

- 未修の司法試験合格率 15.6% (受験者1,829名—合格者286名)
 - 「隠れ未修」(法学部出身者だが既修入試不合格などの理由で未修に入学)を含む数字
 - 既修出身者司法試験合格率40.0% (受験者2,252名—合格者901名)
 - 全体司法試験合格率 33.6% [全て2019年度]

- 標準年限修了率の低下
 - L1→L2進級率 (2019年度)
 - 全国平均 67.8%
 - 法学部出身者 (隠れ既修) 68.1%
 - 非法学部出身者 (純粹未修) 67.2%
 - ※ 大きな差はないということもできる。
 - L2→L3の進級率も低い



5. 東北大学法科大学院の未修者支援の取り組み

未修者にとって法科大学院の勉強は大変。そこで、今、東北大学法科大学院では純粋未修の方でも安心して勉強できるような取組。

- 法律基本科目（七法・司法試験必修科目）を重視した「繰り返し」カリキュラム
- 修了生オフィスアワー制度
- 4月期には修了生による「勉強会」の練習
- 夏期の萩法会（仙台弁護士会による答案練習）や修了生による春期講習（3月期の答案練習）
- 奨学金制度の導入（入試上位合格者には入学金＋初年度授業料相当額として約100万円〔108万6千円〕）

6. 東北大学法科大学院の今年度入試

- 募集定員 既修 35名—未修 15名 前期—後期で定員を固定せず「約半分」
- 東京会場と仙台会場で実施（コロナウイルスの感染状況次第）
- 前期入試（出願期間2020年7月21日（火）～30日（木））
 - 一般選抜・既修者（法学専門科目試験）：2020年8月30日（日）
 - 一般選抜・未修者（小論文試験）：2020年8月29日（土）
 - 社会人・他学部特別選抜（未修）：2020年8月30日（日）
- 後期入試（出願期間2020年9月30日（水）～10月8日（木））
 - 一般選抜・既修者（法学専門科目試験）：2020年11月1日（日）
 - 一般選抜・未修者（小論文試験）：2020年10月31日（土）
 - 学部3年次特別選抜（法学専門科目試験）：2020年11月1日（日）
 - **新型コロナウイルスの感染状況によっては再度変更・中止の可能性**
 - 前期・後期入試の結果、定員に満たない場合は追加入試（仙台会場のみ）を行うことがある

今年度東北大学法科大学院入試の アピールポイント

◆入試成績合格者上位30名に奨学金100万円

- 一般選抜（前期・後期）第2次選考における総得点の高得点者 25名程度
- 学部3年次生特別選抜（既修）第2次選考における総得点の高得点者 3名程度
- 社会人・他学部卒業生特別選抜（未修）第2次選考における総得点の高得点者 2名程度

108.6万円（入学料相当額 + 初年度授業料相当額）

◆1回の受験料で受けホーダイ！

- 入学検定料納付の特例制度（1回の検定料で同一年度内なら既修・未修・前期・後期等を問わずに複数回受験可能）

前期入試（出願期間2020年7月21日 （火）～30日（木））

- 一般選抜・既修者（法学専門科目試験）：2020年8月30日（日）
- 一般選抜・未修者（小論文試験）：2020年8月29日（土）
- 社会人・他学部特別選抜（未修）：2020年8月30日（日）

第1次選考（書類選考）合格発表：2020年8月14日

倍率5倍程度（過去、実施したことはない）

- 最終合格発表：2020年9月30日

後期入試（出願期間2020年9月30日 （水）～10月8日（木））

- 一般選抜・既修者（法学専門科目試験）：2020年11月1日（日）
- 一般選抜・未修者（小論文試験）：2020年10月31日（土）
- 学部3年次特別選抜（法学専門科目試験）：2020年11月1日（日）

事前に東北LS事務（専門職大学院係）に申し出

2020年3月末までに64単位以上かつ2分の1以上がA（80点・優）以上・6法基本科目20単位以上かつ2分の1以上がA（80点・優）

第1次選考（書類選考）合格発表：2020年10月12日

倍率 5 倍程度

- 最終合格発表：2020年12月1日

7. 東北大学法科大学院入試の準備

- 入試問題の過去問とその出題趣旨をウェブ上に開示
 - 過年度入学試験問題
 - <http://www.law.tohoku.ac.jp/lawschool/admission/kakomon/>
- ◆「基本事項の重視」：合格水準は決して高くない！